



発行 愛知県眼鏡小売商協同組合 <http://www.aaaichi.pupu.jp/>

発行人 平岩幸一 編集人 石川洋一

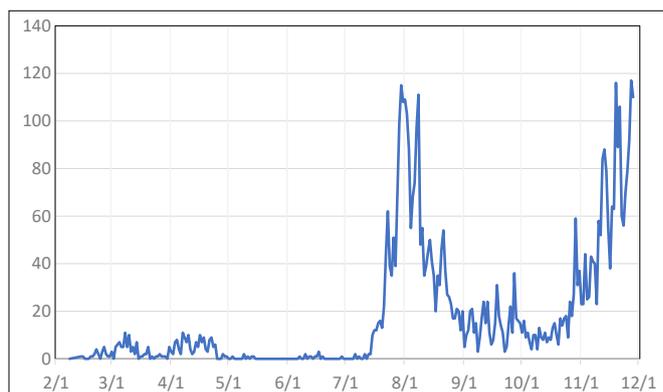


猛威振るう新型肺炎コロナ 組合行事の多くが中止に

2019年後半に中国武漢市で端を発し瞬く間に世界中に流行した新型肺炎コロナウィルス感染症に関する報道がニュース番組からワイドショー、ネット等で連日連夜流れています。

11月半ばの執筆時点で国内の新規陽性者数は2千人を上回り、以後も記録更新する毎日を取り分け重症患者の増加傾向が懸念されています。専門家は第3波到来と位置付け年末年始を控え一段と強い注意喚起を発信しています。

コロナショックは経済面にも大きな打撃を与えています。安倍政権が4月上旬に感染拡大防止対策の緊急事態宣言を発出し大型商業施設や各自治体から個別に要請された業種の店舗や施設が、約1か月以上に渡る長期休業を求められ近年稀にない経済の大停滞をもたらしました。



幸い私たち組合店は「メガネ = 生活必需品」と認められ休業要請の対象事業者から外れましたが、商圈消費者の外出自粛による消費行動の変化から臨時休業や時短営業を余儀なく強いられ、営業成績を大きく落とした店が多数あったことが共同仕入売上高から汲み取れます。

また、店頭での感染予防対策にも迫られスタッフの健康管理、3密回避を基本にした接客時や視力測定時の適切な対応、備品・商材の衛生管理の徹底等で万全を期すことになりました。これを逆説的に捉え「新たなメガネ店のスタンダード」となり得ることをコロナショックが示したと前向きに考えてみても良いかもしれません。

組合行事についてはコロナ禍の下で愛知県が示す感染拡大防止ガイドラインを実践し、通常総会は書面議決方式を採り理事会はリモートで開かれています。東海眼鏡フォーラム、生涯教育講習会、実技講習会ほかイベントも軒並み中止となり、明年予定していました新春互礼会も中止とさせていただきました。

海外で年内にもワクチン接種がスタートす

左は、今年2月から11月末までの名古屋市の新型肺炎コロナ感染症の新規陽性者の推移
愛知県は11月29日～12月18日の期間名古屋市内の一部繁華街エリアへ8月に続き時短営業を要請した

るというトピックスに注目していますが、未だ収束の気配すらみせないコロナとの戦いは長丁場となること必至です。一日でも早く穏やかな日々が取り戻せるよう願っています。

組合員皆様にはご自愛いただきますよう心よりお願い申し上げます。

愛知県眼鏡小売商協同組合 第24期

通常総会を書面議決で開催

5月19日火午後5時より組合事務所にて、第24期通常総会を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため組合員には事前に総会報告書および議決書を送付し書面議決による総会を開催しました。

総会出席者36人（議決書回答33人、本人出席3人 組合員総数56人）で適法成立する旨を宇佐美太朗専務理事が宣し、平岩幸一理事長を議長に議案審議に入りました。

議 事

第1号議案 2019年度事業報告・収支決算承認の件

石川洋一副理事長が事業報告と収支決算書を朗読し、宇佐美専務理事が監査報告を代行した。採決の結果全員異議なく原案を承認した。

第2号議案 2020年度事業計画・収支予算案承認の件

石川副理事長が事業計画案と収支予算案を朗読し、採決の結果全員異議なく原案を承認した。

第3号議案 組合賦課金・徴収方法決定の件

石川副理事長が原案を朗読した後、採決の結果全員異議なく下記を承認した。

本店1ヶ月5千円 支店1ヶ月4千円 年4回3ヶ月ごとに自動引き落とし又は振込とする。

第4号議案 借入金残高最高限度額決定の件

石川副理事長が原案を朗読した後、採決の結果全員異議なく下記を承認した。組合借入金残高の最高限度額を1千万円以内とする。

全議案の審議を終了し、平岩理事長が閉会の辞を述べ午後5時50分に閉会しました。

新春互礼会中止のご案内

新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み1月19日火に予定していました新春互礼会の開催を中止させていただくことになりました。

日時が迫ってからの連絡となりご迷惑をおかけいたしますがご理解をいただきたく存じます。

今期も仕入奨励券を配布

共同仕入委員会

中部卸眼鏡協同組合の解散に伴ない恒例の中部エクセレントフェアも幕を下ろすことになりました。当地区唯一の総合展示会とし開催され私たちの有用な仕入の場となりましたので残念です。組合でも長年フェアに協賛しながら、仕入奨励券発行を継続し加盟店へ還元するとともに事業活性化に繋げて参りました。今年3月コロナ感染防止で急遽フェアは中止されましたが、前年度事業の下に奨励券を発行し、利用方法を一部変更して実施したところ概ね従来通りの利用結果を残すことができました。

本年度も仕入奨励券配布を実施いたします。利用方法については後日ご案内いたします。有効活用お願い申し上げます

眼鏡感謝祭しめやかに



恒例の眼鏡感謝祭が10月6日火午前10時30分より熱田神宮境内眼鏡碑前で役員6名が参列して執り行いました。

式典は厳かに進み、望月宮掌の祝詞奏上、玉串奉奠に続いて参列者全員が玉串を奉げ生業の繁栄を祈念しました。

直会で宮掌は、父上が宮司として奉仕する奈良の山深い地の神社で、コロナ禍で参拜者が増加しているという話をされました。最後に「大自然の摂理を悟り健康に留意し仕事に勤んでください」と諭され散会しました。

東海ブロック協議会を開催

技術者協会愛知県支部

公社日本眼鏡技術者協会東海ブロックは11月16日火午後3時より名古屋都市センターで第29回東海ブロック協議会を開催しました。設営担当の愛知県支部から4名、岐阜・静岡県支部から各2名、三重県支部1名ならびに本部から木方伸一郎会長、桐野事務局長が出席しました。

冒頭木方会長は「先日の九州ブロックはZOOMで開いた。不慣れな所もあったが的確に意見交換できた。今後も効率よく運営していきたい。資格化は順調に進んでいる。現在は技術者協会が技能検定試験の指定機関として承認を請うための仕事を進めている。来年度の省令改正を経て受験者募集を始め2022年4月から試験を開始するという流れがはっきりした。認定眼鏡士のレベルが望み通り評価されることに加え眼鏡技能士に何人の方が移行するかが課題となる。若い人たちが望んで入ってくる業界にするため資格制度を確立したい」と挨拶しました。

平岩幸一ブロック長を議長に審議に入り、

事務局から認定眼鏡士登録状況、全国15支部が申請した普及啓発PR事業、広報活動、12月公示の代議員選挙について報告されました。支部活動報告では、通信講座に切り替えての生涯教育や書面議決での支部総会開催等、新型コロナウイルス感染防止に苦慮する活動状況が各支部から報告されました。

眼鏡技能士移行後の会員教育、代議員の選任方法についての動議に意見交換した後、午後5時に閉会しました。

2020年度生涯教育実技講習会について

新型肺炎コロナの感染拡大状況を鑑み会員や関係者の健康と安全を考慮し愛知県支部の生涯教育、実技講習会を中止させていただき、通信講座の形で受講していただくことにしました。教材費は生涯教育受講料と同額の5千円です。

通信講座受講申し込みは、通信講座申込書と教材費を現金書留に同封し技術者協会本部事務局へ送付してください。

公取推進委員会

① 6月7日日午後7時 メガネの宇佐美
出席委員 宇佐美

② 10月29日日午後7時30分
メガネの宇佐美 出席委員 石川、宇佐美
6月審査会収集資料14件（7社）のうち11件を、10月審査会収集資料17件（9社）のうち13件を被疑事案として眼鏡公正取引協議会へ申告しました。

10月審査会での不当表示の内容は商品品番不表示、原産国不表示が多くみられました。特にレンズの品種品名の不備が目立ち「日本製」のみの表示もありました。

チラシ収集にご協力お願いします

チラシ折り込み日と投入地区をチラシ片隅に記入してください。組合事務所若しくは役員までお届けください。

代表委員 宇佐美太朗

新春互礼会に45名参加

東海眼鏡協議会は新春互礼会を令和2年1月21日火午後6時より東京第一ホテル錦で会員・来賓ら45名が出席して開催しました。

平岩幸一代表幹事は主催者挨拶で「昨年、女性がメガネを掛けてはいけない職業についての報道が話題になった。日眼連でもSDGsを進めており「全ての人々がメガネを利用でき豊かな生活を送れる社会を目指そう」と一致した。眼鏡を必要とする人へサポートするとともにメガネに対する偏見を是正するのも我々からと認識を新たにしたい。社会に必要とされる業界にしていきたい。ご協力願いた

い」と述べました。

来賓を代表して木方伸一郎公社日本眼鏡技術者協会会長と小林成年中部眼鏡卸協同組合理事長が祝辞を述べました。

アイバンク募金贈呈式では平岩代表幹事から寺崎浩子公財愛知県アイバンク協会理事長へ本組合のアイバンク募金目録が贈られました。続いて津田節哉国家資格推進機構相談役・愛知県眼鏡組合名誉顧問が乾杯発声し宴に入りました。

互礼会に先立ち午後4時から講演会「具体例から学ぶ事業承継対策セミナー」（講師：三井住友海上火災保険株経営サポートセンター早川一郎氏）が開催されました。

◆ 理事会報告 ◆



組合員の異動